

地域情報

ミツバチ管理講習会（イチゴ）の開催

（一社）熊本県野菜振興協会天草支部

天草地域では、19名がイチゴを約3.5ha栽培しています。

イチゴの交配作業はミツバチが利用されていますが、熊本地震や豪雨で養蜂業者の巣箱が被災した影響で、花粉交配用ミツバチが不足傾向にあります。

イチゴの安定生産には、花粉交配用ミツバチの安定供給やミツバチの適正管理が必要です。そのため、天草支部では養蜂業者を講師として招き、JAあまくさやJA本渡五和のイチゴ生産者を対象としたミツバチ管理講習会を10月6日に開催しました（写真1）。

この講習会では、養蜂業者による管理講習の後に関係者全員で意見交換が行われ（関係者：養蜂業者、生産者、JA、市、県）、イチゴ栽培期間中、JA指導員が農家と養蜂業者の情報共有の窓口となり、ミツバチの管理指導を行うことが申し合わされました。

現在、ミツバチの安定供給や適正管理が行われ、ほ場では、ミツバチの交配活動が順調に行われています。

天草支部では、今後もイチゴ農家の生産安定のため、現地検討会の開催や巡回指導を実施する予定です（写真2）。



写真1 ミツバチ管理講習会風景



写真2 イチゴ現地検討会風景